

よっ葉だより

2025 年
10月20 日号
No.857

～地産地消～
いのちと健康くらしを守る
よっ葉生活協同組合

ふれあいまつりの季節がやってきます！

今年は小山を飛び出し、宇都宮の駅前で初の室内開催。
もちろん屋外でも、キッチンカーがお待ちしております。
今までとは違う、そして今までと同じ思いで、
県内のみならず北海道、四国、沖縄など遠路はるばる参加して下さる
業者さんや生産者さんと一緒に、
新生ふれあいまつりをぜひ楽しんでください♪

ひと足お先に 11月1週～11月4週で
ふれあいまつり in くらら
を開催します！
紙面でもぜひ楽しんでください♪

ご来場、お待ちしております！

遊びにきてね！

Let's go!

11月15日だよ

よっ葉生活協同組合

2025年
ふれあいまつり

11月15日 Sat. ライトキューブ宇都宮
10:00～14:00 大ホール&宇都宮駅東口広場

業者さんや生産
者さんとお話し
ながらのお買い
物は、年に1度の
ふれあいまつり
だけ☆



くらら掲載の商品
が実際に目の前に
(^^)
今まで気づかなか
った一品に出会え
るかも！

こんなにたくさん
業者さんが!?

よっ葉の安心な
商品がたくさん！

お買い物をたっぷ
り楽しんでね！



エコバッグを
お忘れなく(^^♪

JR 宇都宮駅直結♪
外からも入れるよ！

ライトキューブ宇
都宮には駐車場
がありません。
公共交通機関、
または近隣の
有料駐車場を
ご利用ください。



34回目を迎える、よっ葉生協ふれあいまつり。
《試食コーナー》、《食や農をテーマとした体験コーナー》、
《子どもコーナー》、そして、よっ葉こだわりのメーカー
60社以上が出店します。食品や雑貨まで様々なものが
買物できる、年に1回の“おまつり”です。
食に関する学びや、おいしい体験など、“新しい出会い”が
待っています。
毎日の暮らしを豊かにするヒントを見つけに来てください！

入場無料

エコバッグ、保冷バッグ等をご持参ください



※アクセス※
公共交通機関：宇都宮駅東口直結。改札口から徒歩2分
車でお越しの方へ：ライトキューブには駐車場はありません
近隣の有料駐車場をご利用ください

主催：よっ葉生協ふれあいまつり実行委員会
☎ 0120-07-1613

有機野菜・果物、無添加のお菓子・調味料・加工食品、自然派コスメ、エコ雑貨 etc.

【FOOD】アグリクリエイト/新ショウナン/新上原園/新アップルファーム/新みず/無茶々園/農事組合法人 庄内協同ファーム/高橋農園/新日本の稲作を守る会/新
ECO山本/新野菜くらぶ/新トクスイコーポレーション/新食水産加工販売/新タカシヨウ/北海道漁業協同組合連合会/全国漁業協同組合連合会/新鎌倉ハムクラウ
ン協会/新セントラルフード/新丹沢農場/新とん太ファミリー/新フリーデン/新橋徳治商店/よっ葉乳業/新ホウライ/新毛産農協同組合/新コモ/新船便河原精
製所/新和食品/やささと農産協同組合/新カラミノファーズ/新秋川牧園/新大進食品/新ニッコー/新ファーストフーズ/新飛鳥食品/新東京ゴールドチェーン/新忠食
品/新クラシーゴア/新酒蔵/新田産農園/新ランカスター/2.1世紀コーヒー/新まるつね/新小林海苔/新創登社/クアントバスタ/ムソー/新リアス/新井養蜂
場/新田産油/新中田商店/新協和/新京産農園/新野良産/新風見/三菱食品/【OTHERS】ハイム化粧品/新太陽油脂/新ジャパンビューティプロダクツ/新栄農事
所/新生活アートクラブ/新アーダブレイン/新クルード/中央労働金庫/新よっ葉サービス

よつ葉の広場 話輪 WA in 群馬 9月20日(土) 昭和村(株)野菜くらぶ(株)グリーンリーフ たくさんの「感動」をいただきました



人づくり
土づくり



レタスやキャベツ、トマトなどの「くらら」でおなじみの(株)野菜くらぶ、そして「有機生芋コンニャク」や「糖絞り大根」などの加工品でおなじみの(株)グリーンリーフの、新社屋兼加工場にお邪魔しました。会社の経営理念は「感動農業 人づくり 土づくり」。「感動」とは、「感じて動く」。昭和村の、赤城山中腹のすがすがしい農村地帯にある敷地の入り口には、社旗とともに、アジアの国々の国旗が翻っています。その訳は…?



「乗用コンニャク植え付け機」

グリーンリーフは創業60年。澤浦社長のお父様がこんにゃく栽培を始めたのが始まりです。社屋のエントランスに展示してある古い耕作機は、「乗用コンニャク植え付け機」。お父様の自作で、

手作業を機械化しました。のちにメーカーから販売され、昭和村の蒟蒻芋生産量日本一のきっかけとなったそうです。

その後、大量の農薬と除草剤の散布や土壌燻蒸を要するコンニャク芋の慣行栽培から、有機栽培に転換しました。そして平成3年、コンニャク芋の価格の大暴落への対策として、コンニャク芋への加工を始めました。種芋の植え付けから出荷までに3年かかるコンニャク芋。収入をあきらめず、初めは家庭用ミキサー8台と大きな羽釜で試行錯誤からの手作りでした。澤浦社長の前向きな不屈の精神に圧倒されます。



「羽釜」

先代社長の「植え付け機」発明の精神に通じますが、加工場でも畑でも積極的に機械化を進めカメラで工場内の様子をモニターし、近代的な加工場です。大根畑でも「大根抜き機」が大活躍!一方で、人の手が必要なところには惜しまずに手をかけ、そして、働く人をとても大切にしています。

有機コンニャク芋の栽培は重労働です。熱帯原産のコンニャク芋は、ギザギザの固い葉が腰の高さに茂り、夏場の除草はその下を這いながら手作業で行う他ありません。アジア各国からの技能実習生がそのきつい作業を担っています。国産コンニャク芋の中で有機の割合は0.7%。その中の7割のシェアを、野菜くらぶが生産しています。多くの技能実習生を抱えるからこそその生産量で、「私たちが有機の蒟蒻を食べられるのは技能実習生のおかげ」です。農作業や加工場での作業に、多くの技能実習生が従事していますが、社屋の敷地の入り口に掲げたアジア各国の国旗は、彼らへの敬意を示すものです。実習生を受け入れる際、澤浦社長が事前に実習生の家庭(母国の)を訪問し、日本と大きく異なる母国での生活環境を知ることで、



必要なサポートができています。

他にも、子育て世代の就労を支える託児所の設置や、新社屋内の誰もが使えるトレーニングジム、気持ちの良い屋上でのバーベキュー設備など、農業に関わって働く人が幸せに暮らせることを大切にしています。

よつ葉生協とのかかわりは2005年8月ごろから。野菜くらぶの小林さんには忘れられないことがあります。3.11福島原発事故後、野菜くらぶのカキナも放射能汚染で出荷停止になりました。「安全・安心な食べ物を」と努力されてきた生産者の皆さんも小林さんも、「どう立ち上がれば良いかわからない」ほどの痛手に打ちひしがれていた時、「よつ葉生協から富居さんが来て下さったんです」。当時理事長だった富居顧問が、放射能測定器の購入等で「測って届ける」道筋が見えたことで、「なんとか、一緒にやっていきましょう」と産地を訪れて声をかけたことが、生産者の方々を大きく勇気づけたのでした。

その後2014年に昭和村は過去最大級の雪害に襲われ、ハウスの倒壊など大きな被害を受けますが、よつ葉生協など消費者とのつながりから励まされた経験を、小林さんは動画にして記録しておられます。

会議室でたっぷりとお話を聞いた後は「朝採れ野菜のバイキングランチ」。採れたてのレタスやトマト、白菜、小松菜などがよつ葉の食材と一緒に調理され、グリーンリーフの糖絞り大根、白菜の浅漬けと共に8品が並びました。おいしくいただきながら交流し、参加者が時に声を詰まらせながら感想を述べ合いました。小林さんたちも、「我が社の好きなお店」を教えて下さいました。それぞれ農業への情熱や会社への愛にあふれる言葉でしたが、田頭さんが仰った「嘘をつかないで仕事ができる場所」という言葉に、全てに対して誠実に向き合う社長さんと従業員皆さんの仕事を思いました。

消費者が農薬、化学物質等の危険性を知り、安全なものを求め選ぶことは、健康だけでなく地球環境の保全のためにも大切なことです。でも、一方的に求めるだけでは実現できません。生産者の方々への敬意を忘れずに、様々な困難を消費者も自分事として考え、行動する必要を改めて感じました。

(理事 堀)





よつ葉の広場～話・輪・WA in 群馬 参加された方の声♪

●生産者の方々の野菜にける思いや熱意を知る貴重な経験になりました！
(松本さん)

●私はこんにゃくが大好きですが、有機のこんにゃくがどう作られるか知れる機会が今までなかったので、とても有意義な時間になりました。特に海外まで家庭訪問に行くなど長時間の移動をともなった努力もされていて、人と向き合うレベルの高さに驚きました。有機のこんにゃくは手間がとてもかかりますが、とてもおいしいので、多くの方に食べていただきたいです。
(B・W さん)

●壁に直面しても試行錯誤を重ね、乗り越えながら進化し続ける企業の姿に深く感銘を受けました。私自身、健康のために有機野菜を購入することが多いのですが、その背景には、生産者の方々のたゆまぬ努力があることを知り、改めて感謝の気持ちを抱きました。ありがとうございました。
(N・I さん)

●すてきな機会をありがとうございました。みなさんの思いや苦勞など聞く事ができて、感謝の気持ちがあふれました。人の思いがこもった野菜だから、こんなにも美しくおいしいのだなと感じました。
(A・K さん)

●生産者の方、グリーンリーフ、野菜くらぶの方々の努力と熱意にとっても感動しました。日々いただく野菜はあたり前ではなく、感謝をもって食べていきたいです。そしてその感動を私自身も誰かに与えられる人になれるよう成長していきたいです。いつもおいしい野菜をありがとうございます。
(K・K さん)

●時代に合わせて新しい機械を導入し、ニーズに合わせて変化し続けている姿、生産者と消費者を繋げる活動がされていることに感銘を受けました。(バイキングランチは) 工場見学、お話し会の答え合わせをしたかのような時間でした。生産者のおもいが詰まった野菜、美味しかったです。
(F・N さん)

●働いている方々の思いが伝わってきて感動しました。まず購入を通して応援したいと思います。時代の流れと共に変化し続ける、素敵な企業だと思いました。働く事が楽しそうだなと思いました。
(H・H さん)



ふみさんの 日々のカンタン！ 養生とあやつ

秋編

暑さの残る日中と朝晩の寒暖差が大きくなり、一気に乾燥がすすむこの季節をゲンキに過ごす養生ポイントを紹介します。

秋のゲンキのポイント



秋の乾燥に
イライラして

その1: 調理は加熱時間を長く

冷えに気をつけたいこの季節は、生食を減らし加熱する料理や加熱時間を少しずつ増やせると◎調理法の中でも 潤いをアップする、水分の多い **蒸す**、**茹でる** がおすすめです。

オーガニックフードマイスター、調理師 発酵食品を使ったおやつ「日々のお菓子」製造、助産院でのごはん作り等でも活動中！よつ葉サークル「なす子育ちの会」代表 薄井史子

その2: 体を潤す食材をえらぶ

肺や皮膚、粘膜が乾燥しやすい季節です。水分を多く含む体を潤す **白い食材** を意識していきましょう♪

あんこ、山芋、白菜、白ごま、豆腐などの大豆製品、きのこ類、白きくらげ、梨、りんご、葛粉、ぶどう、かりん、さといもなど

<秋の養生あやつ>

『梨のはちみつ煮』

梨1つを8等分に水200ccはちみつ大さじ2〜3と小鍋に入れて煮る
(房は白キクラゲやフコウの奥があるとき更に潤いなり果up!)

梨は体の熱を冷まし肺やのどを潤します。暑さから残り乾燥もすすむこの季節にぴったりの果物と同じく潤いを与える働きのはちみつでのどの不調時や不調の予防にぜひお試下さいよ

その3: おなか温めバツヤかに

気温も下がり日照時間も短くなる秋は寂しさを感じ感傷的になりやすくなります。そんな時はおなかをあたためると不思議と落ち着きバツヤかに。腹巻きをしたり湯たんぽをあたためたり **こんにゃく湿布** などがおすすめです。

(10分程度茹でたこんにゃくをタオルで包んでおなかにあてるとおちつきがよくなります)

「第 12 回 よつ葉マルシェ in 宇都宮」は、

9 月 28 日 (日) マロニエプラザ

ここのちの良い秋空の元、無事開催する事ができました。会場設営、搬入も予定通り進み、オープン時には列となり、たくさんの方々にご来場頂きました。出店 101 ブース、業者さん 11 ブース、計 112 となりました。手作り雑貨、アクセサリ、占い、整体、ワークショップ、コーヒー、和・洋菓子、お弁当、農産物、キッチンカー、普段会えない業者さん等。組合員さん中心のこだわりの品々が数多く並び、ご来場の方、出店者の方共、各所を回って楽しんでいらっしゃいました。スタンプラリーは何店舗も回ってスタンプを集める楽しみがあり、13 時 30 分には大好評の内に終了してしまいました。特賞が当たった時には、会場中で盛り上がりしました。来場者数は 1,445 名、当日新規ご加入は 16 名でした。過去最高のご来場者となりました。出店者の方、来場者の方共、ぜひ来年も開催を楽しみにしていますとのお声を頂きました。地域生協だからできる組合員さんとのふれあいの場です。これからも継続してよつ葉生協の輪を広げていきたいです。(宇都宮営業所 飯田)



「よつ葉生協は、栃木県生協連と栃木県との包括連携協定に基づき、県の広報に協力しています」

11/22^土
11:00→16:00

11月22日はとも家事の日
家事をもっとラクに、
もっと楽しく！
みんなで家事シェア！
とも家事フェス
TOMOKAJI FESTIVAL 2025
参加無料
in 道の駅しもつけ
栃木県下野市栗園寺3720-1

詳しくはこちら

入場無料

第 8 回
よつ葉マルシェ
in 足利
～日々の暮らしを丁寧に～
あなたの好きを見つけに来てください
組合員さんたちを中心とした
Foods、ハンドメイド、ワークショップ
リラクゼーション、占い、
よつ葉でおなじみのメーカーさん、etc...
総勢70を超えるお店が集います

2025 11.9 sun.11:00-15:30
場所：あしかがフラワーパークプラザ
(足利市民プラザ)
栃木県足利市朝倉町264
次回は足利！！
たくさんの方のご来場
お待ちしております♪

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(10月2週分)
ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちがお届けされています (単位：円)

放射能から子どもを守る募金 (900 番)	4, 300
震災孤児を支援する募金 (910 番)	14, 000
「有機農業と国産種子」募金 (920 番)	6, 700
合 計	25, 000

共同購入注文書裏の「10 品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB 注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。
一口 100 円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223
☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101
HP <https://yotsubacoop.jp/>
よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp

ホームページ

Facebook

Instagram